

105-173

問題文

薬物の胆汁中排泄に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肝実質細胞の胆管側細胞膜上に発現し、薬物や薬物の代謝物を胆汁中へ排出するトランスポーターの多くは、ATPの加水分解エネルギーを直接利用した輸送を行う。
2. 一般に、分子量が小さい薬物ほど、胆汁中に排泄されやすい。
3. 肝実質細胞から毛細胆管中に排出された薬物は、総胆管を経て十二指腸内に分泌される。
4. グルクロン酸抱合体となることで腸肝循環を受ける薬物は、腸内細菌がもつ β -グルクロニダーゼを阻害すると、血中濃度時間曲線下面積が増加する。
5. 薬物の肝クリアランスは肝臓での代謝クリアランスで表され、胆汁中への排泄クリアランスは考慮されない。

解答

1, 3

解説

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが

分子量が「大きい」薬物ほど胆汁中に排泄されやすいです。よって、選択肢 2 は誤りです。()

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが

腸内細菌による分解がなくなると、腸肝循環がなくなります。つまりあっさり排泄されるということなので、AUC は減少すると考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

排泄クリアランスも考慮されます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。

参考)